

一盃

御吸物

醬煎

箸臺

御湯

御菓子五種

御色直之獻

縮鬘斗
赤白粉

餅八ツ

箸臺

二獻

指身

吸物鮎

箸臺

三獻御添肴

鮎鮒

右相濟、次引替之膳出ル也、

〔料理獻立〕年頭御式

朝御膳 二汁十菜

右往古より五三二と唱へ申候奥よりも五三二之御膳と御申有之、尤右ニ付古實有之哉難相分候、

御獻立如左、但昨卯年七〇寛政被召上候品を記申候、但例之外者、御品其節之御好に隨ひ、少宛之相違御座候、

御本厚御三方附御獻立書面之通

御皿付 御繪きすくり あわび きんかん くら

同上 一御やきもの すまし 御汁花あわび みる

一鹽小鯛 御飯

御に物ため んざる くこんぶ 御かう の もの けみ しどり ぶ

御二

右同斷 御に物と う へい すい くも かほ な 菜

かば やき ふき 御汁